

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自民クラブ
氏名 長谷川 ひろゆき

項目	研修費		支出内容
費目	参加費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
1-1	4 / 10	15,000	地方議員研究会参加費 (1講座) 場所・主催者等は「活動記録簿」等に記載
1-2	4 / 10	15,000	地方議員研究会参加費 (3講座) 場所・主催者等は「活動記録簿」等に記載
1-3	10 / 9	30,000	地方議員研究会参加費 (2講座) 場所・主催者等は「活動記録簿」等に記載
1-4	10 / 9	15,000	地方議員研究会参加費 (1講座) 場所・主催者等は「活動記録簿」等に記載
1-5	10 / 9	30,000	地方議員研究会参加費 (2講座) 場所・主催者等は「調査視察等届出書」等に記載
3-1	4 / 14	25,000	廣瀬行政研究所セミナー参加費 (東京) 場所・主催者等は「調査視察等届出書」等に記載
4-1	5 / 22	60,000	地方議員研究会参加費 (4講座) 場所・主催者等は「活動記録簿」等に記載
3-2	1 / 22	30,000	地方議員研究会参加費 (2講座) 場所・主催者等は「調査視察等届出書」等に記載
3-3	1 / 30	30,000	地方議員研究会参加費 (2講座) 場所・主催者等は「調査視察等届出書」等に記載
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小計		250,000	備考
合計		250,000	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号	1-1、1-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

2025 年 5 月 16 日

長谷川ひろゆき 様

★ **¥15,000**

但 データの集め方や、使い方講座

資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル2階5-6号室
TEL 050-6868-9678

領 収 証

2025 年 5 月 20 日

長谷川ひろゆき 様

★ **¥15,000**

但 新人議員のための4ステップ研修

資料・動画データ代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル2階5-6号室
TEL 050-6868-9678

※

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号	1-1 1-2
領収書等貼付欄					

令和7年4月11日(金)

青森県八戸市議会
長谷川ひろゆき 様

地方議員研究会
CKセミナー事務局
電話 050-6868-9678
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6868-9679

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。
資料、USB動画データ、領収証は、開催後7-10営業日中に郵送いたします。
データの無断転載等をご遠慮願います。
またのご利用をお待ちしております。

記

お申込み講座	金額	備考
① 2025年5月16日(金)10時～木村講師【東京】データの集め方や、使い方講座	¥15,000	不参加
② 2025年5月20日(火)13時半～杉本講師【博多】予算決算を読み解く財政に強い議員が要	¥5,000	不参加
③ 2025年5月21日(水)10時～杉本講師【博多】議員力を上げる！政策立案と提案力 ※1講	¥5,000	不参加
④ 2025年5月21日(水)13時半～杉本講師【博多】影響力のある議員になる議会制度の知識	¥5,000	不参加

領収書宛名：	長谷川ひろゆき 様	
お振込み金額：	¥30,000	
お振込み日：	令和7年4月10日(木)	お届け先：〒031-0802 青森県八戸市小中野4 [REDACTED]
お振込み名義：	長谷川ひろゆき 様	

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項 目	研修費			
年 月 日	令和7年5月16日（金）			
場 所	リファレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿7丁目21-3） 会場には不参加。後日郵送された映像USBと資料にて受講。			
相 手 方	地方議員研究会 CK セミナー事務局 講師：木村 亮太 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・結果等	<p>近年、議会に寄せられる課題は多岐にわたり、その背景には人口動態、財政状況、市民意識など、複雑で多面的なデータが存在している。議員として、より質の高い政策提案や議会質疑を行うためには、これらのデータを正確に把握し、根拠を持って議論を展開する力が不可欠である。</p> <p>しかし現状では、総合計画や総合戦略、決算審査意見書、財政状況資料集といった基礎資料の読み解きや、類似団体比較を踏まえた分析方法について、体系的に学ぶ機会が限られていた。特に、人口ビジョンや財政分析、人事行政の状況など、政策判断の土台となる情報の収集・整理をどのように進めるべきか、個人の経験や感覚に頼る部分が大きかったと感じている。</p> <p>今回の「データの集め方・使い方講座」を受講することで、政策形成の基盤となる資料の読み方、市民意識調査の活かし方、他市比較調査の視点などを体系的に習得し、議会質問の質向上に結びつけるための基礎力を高めることを目的とした。</p>			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	研修費	データの集め方や、使い方講座 参加費	15,000 円	
			円	
			円	

備 考	
-----	--

研修の概要

【総合計画の施策評価、総合戦略から質疑をつくろう】

- 市のあらゆる計画の上位計画、全ての行政計画は総合計画に紐づいている
- 市民アンケートで市民の重要度、満足度を比較していることが多い
- 総合戦略とは人口減少対策のために作っている計画
 - 例：まちひとしごと創生総合戦略と人口ビジョン
 - 例：将来の人口推計を、所属自治体の人口ビジョンや社人研の推計で確認

【決算審査意見書】

- 監査委員が決算を審査し意見を付したもの
- まず確認すべきは「意見／審査意見／総括」
- 記載内容について詳細を確認したい場合は監査事務局へのヒアリングも可

【財政状況資料集（と決算カード）の見方】

- 決算カードの記載内容は、財務状況資料集の中の「総括表」「普通会計の状況」で
 おおむねカバーされている
- 財務状況資料集は決算カードの情報に加えて、「財務比較分析表」「経常経費分析」「性質別歳出決算分析表」「性質別歳出決算分析表」など、類似団体比較がある

【人事行政の運営状況の把握】

【その他議員が見ておくべき資料について】

- 内部資料
 - 事務概要・統計書
 - 行政評価書・政策評価書・事務事業評価
 - 行政計画
 - 決算審査意見書、総括、意見
 - 包括外部監査（中核市以上）
- 外部資料
 - 決算カード、財務状況資料集（総務省）
 - 業界紙（日経グローバル、ガバナンス等）

【他市調査をかける】

【質問を実現するために ブログのススメ】

【最後に】

○まちの魅力は議会、行政、市民、企業、それぞれの掛け合わせである

【所感】

本講座では、総合計画・総合戦略から決算審査意見書、財政状況資料集、人事行政など、議員が政策判断に必要とする多様な資料の構造と活用方法を体系的に整理できた。特に、自治体のあらゆる計画が総合計画へと紐づいていること、そして人口ビジョンや市民アンケートの「重要度と満足度のギャップ」が政策の優先度を考える上で有効な示唆を与えている点には、改めて重要性を認識した。

決算審査意見書や財政状況資料集の読み取りでは、単なる数値の羅列ではなく、類似団体比較や経常経費の構造を踏まえて分析することの必要性を学んだ。従来は感覚的に把握していた部分について、論理的かつ客観的に整理するための「地図」を得られたと実感している。また、監査事務局へのヒアリングや業界紙の活用など、日常の議員活動にはない視点も新鮮であった。

講座を通じ、「自治体のデータは、読み解けば必ず背景と意図がある」という当たり前の事実を再確認できた。議員として、市民の声と行政のデータをどのように接続し、課題の本質を見極め、政策提案へつなげていくかが問われているように感じた。

今回得た知識は、単なる資料理解にとどまらず、今後の一般質問や政策検討において、多角的で冷静な判断を下すうえで大きな助けとなる。今後は、他市調査やブログなどを通じて情報発信にも取り組みつつ、データに基づく議会活動をより深め、まちの魅力を最大化するための努力を重ねていきたいと感じたことをもって、本講座の所感としたい。

第6号様式(第7条、第8条関係)

活動記録簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項目	研修費			
年月日	令和7年5月20日(火)			
場所	リファレンス駅東ビル(福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-14) 会場には不参加。後日郵送された映像USBと資料にて受講。			
相手方	地方議員研究会CKセミナー事務局 講師:杉本 康介 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・結果等	<p>本研修を受講する目的は、市議会議員として不可欠である「自治体財政の理解」を体系的に深め、政策立案や予算審査における実効性を高めるためである。地方財政は、国民生活に密接に関わる行政サービスの大部分を担い、その規模は政府支出全体の過半を占めている。しかし、財政運営には固有のルールや前提があり、これを踏まえずに議論を行えば、行政との認識のズレや、成果につながらない質問に陥る可能性がある。</p> <p>特に議会は「お金の使い方を決める機関」であり、数字は価値判断の基盤となる。本研修を通じ、財政制度というマクロの仕組みから、自自治体固有の財政状況と事務事業の成果というミクロまでを一貫して理解し、「数字で語る議員」としての力量を高めたい。また、今後の一般質問・政策提案において、成果と進捗に焦点を当て、行政が取り組みやすい論理的な議論を行うことで、より建設的な市政運営に寄与することを本講座の受講目的とする。</p>			
経費	費目	内容	金額	備考
	研修費	財政に強い議員が最強参加費	5,000円	
			円	
			円	
備考				

研修の概要

【自治体の財政を知る勘所】

- 1 地方財政の制度を先に学ぶ（マクロ大きい視点）
- 2 財政のルールを学ぶ
- 3 自治体個別の財政を学ぶ（ミクロ小さい視点）
- 4 進捗や成果を聞き、予算に生かす

【地方財政の果たす役割】

- 国民生活に密接に関連する行政のほとんどが地方団体の手で実施されている
- 政府収支に占める地方財政のウェイトは国と地方の歳出決算・最終支出ベースで54%となっている

【自治体財政のルール】

- 赤字にならないこと（京都市や福井市では赤字が発生）
- 自治体のお金の使い方は自由（議会が決めている）
- 財政健全化や指標は数値であり目的ではない

【6つの予算の原則】

- 1 総計予算主義の原則
→一会計年度における一切の収支及び支出を、全て歳入歳出予算に計上しなければならぬとする原則
- 2 単一予算主義の原則
→単一の見積書にあらゆる歳入歳出を包括し、かつ予算の調整は一年度一回を適当とする原則
- 3 予算統一の原則
→分科された各予算を通じて一貫した秩序があることを必要とする原則
- 4 予算事前議決の原則
→予算が地方自治体の一定期間における経費の見積りであるから、住民の代表による議決を経て、始期と同時に効力を生ずるものとする原則
- 5 会計年度独立の原則
→それぞれの会計年度において支出する経費の財源はその年度の収支をもって充てるべきであり、また、当該年度に支出すべき経費を他の年度において支出すべきではないという原則
- 6 予算公開の原則
→予算は、住民に対し積極的に公開していく必要があるという原則

【自治体の財源】

- 地方税
- 地方交付税
 - 地方交付税制度は地方財政制度の根幹
- 補助金（国庫支出金、都道府県支出金）
- 地方債（自治体の借金）

【ムダ削減と政策提案】

- 成果をしつこく聞く
- 提案するなら、現状や課題は自分で調べる
- あるべき姿も政治家が提示する

【効く質問とスルーされる質問】

- ・論理的な質問→○
- ・事実に基づく質問→○
- ・成果や進捗を問う質問→○
- ・役所が乗りやすい質問（地方財政対策）→○
- ・勘違いに基づく質問→×
- ・言いたいことがわからない質問→×
- ・視察で見してきた他自治体の事例の質問→×

【予算書や決算書だけを見ない】

- 数字のチェックは本来の議会の仕事ではない
 - 監査と議決は全く別の仕事
 - 会計事務所ではなく株主総会
- 議会は議事期間（チェック機関ではない）
- お金の使い方を決めているのは議会
 - 意義があるなら予算修正や否決をする
- 事務事業の束が予算であり決算
- 事業の成果を聞く
- 決算カードや財政状況資料集を見る

【数字で語る議員になる】

- 数字は「価値判断の土台」になる
- 「根拠ある言葉」が周囲の信頼を生む
- 行政も議会も「数字が読める人」を重宝する
- 数で語れば「感情論」から脱却できる
- 「財政がわからない」で済んでいた時代の終わり
- 財政知識があるだけで発言力は跳ね上がる

- 「財政に強い議員」は主導権を握る
- 結果として、政策実現力も飛躍する
- 「お金がない」と役所に言わせない。

【所感】

今回の研修を通じて、財政知識を持つことが議員活動においていかに大きな武器となるかを痛感した。財政のルールや仕組みは複雑ではあるが、その根底には「自治体が赤字にならないこと」、「予算は住民に公開されるべきこと」など、民主的な統治機構を維持するための明確な理念が存在していることを知った。これらを理解した上で政策を語るこそが、議員としての責務であると感じた。

また、単に予算書の数字を追うのではなく、その裏側にある事務事業の成果や課題を捉える重要性を再認識した。成果を執拗に確認し、必要であれば予算修正や提案を行うという主体性こそが議会の本来の姿であり、政治家として示すべき「あるべき姿」でもある。今後は、決算カードや財政状況資料集を積極的に活用し、数字に基づいた根拠ある発言を行うことで、行政にも市民にも信頼される議員像を確立していきたい。

「財政に強い議員が最強である」という言葉のとおり、財政を読み解く力は発言力を高め、政策実現の可能性を大きく広げる。今回得た視点を実務に落とし込みながら、引き続き研鑽を積んでいきたいと感じたことをもって、本講座の所感とした。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項 目	研修費			
年 月 日	令和7年5月21日（水）			
場 所	リファレンス駅東ビル（福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-14） 会場には不参加。後日郵送された映像USBと資料にて受講。			
相 手 方	地方議員研究会 CK セミナー事務局 講師：杉本 康介 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・ 結果等	<p>本研修を受講する目的は、議員としての活動を単なる問題提起や指摘で終わらせるのではなく、地域の課題を前に進める「提案型の議員」へと進化させるためである。市民に選ばれた以上、明確な政策軸と専門性を持ち、「〇〇といえばこの議員」と認識される存在感を築くことは欠かせない。そのためには、地元課題・自身の経験・強みを掛け合わせ、自らのテーマを確立し、市政に主体的に関わる視点が必要となる。</p> <p>特に、行政が動きやすい提案を行うには、現場の実態、データ、制度、そして財政の理解が不可欠である。本研修では、成功事例の適切な活用方法や、実現可能な政策へと落とし込むための戦略的思考、また他自治体の議事録やデータベースを活用した情報収集の手法を学ぶことができる。また、これらを身につけることで、議会内外における影響力を高め、市政の改善に確かな一歩を刻む議員になることを目的とする。</p>			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	研修費	政策立案と提案力 参加費	5,000 円	
			円	
			円	
備 考				

研修の概要

【何をしているか分からない議員から卒業せよ】

- 実績のない議員ほど「存在感がぼやける」
- 市民に語れる「自分のテーマ」をもて
- 一貫した政策軸が「議員像」をつくる
- 「売り」がない議員は選ばれない
- あなたの存在でまちの何が変わったのか
- 市政の問題点を共有する大事さ

【議員の売りを設計せよ】

- 強み・経験・地元課題を「掛け算」せよ
- 政策の「専門性」が評価につながる
- 「〇〇といえばあなた」と言われる領域を作る
- 差別化は「活動の深さ」で生まれる

【一般質問を提案型に進化させる】

- 提案がある質問は、職員も動かしやすい
- 問題提起だけでは「文句言い」と捉えられる
- 現場に行く。学校の質問をするなら学校に行こう
- 「どう解決したいか」を示す議員になれ
- あなたはどうしたいの？って、職員からすれば言いたい
- 共有するにはデータ、根拠、数値を押さえる

【提案力がある議員＝影響力がある議員】

- 良い提案は「関係者を巻き込む力」になる
- 施策を「動かす力」が評価される
- 提案で議会内外のポジションが変わる
- 提案力は「信用と行動力」の証明
- 誰が言うかで実現力は変わる
- 質問をして実現しないのであれば質問しないほうが結果が出る
- 質問は一つの手段でしかない
- 本質を外さないこと

【質問の準備や情報収集】

- 過去の議事録を確認、用語検索
- 政府のホームページやSNSのブック人
- 他自治体の条例はデータベースで

- 他の議事録は「地方議会議事録横断検索」
- RESAS、RAIDAも活用する

【他自治体の成功事例をどう使うか】

- 自分のまちに同じ課題があるのかを議員が見つける
- 先進地が成功しているとは限らない
- 他自治体の事例は仮設の検証でこそ使う
- 類似団体での比較を心がける

【実現可能な公約に変える戦略的思考】

- 理想→現実までの「段取り力」を鍛える
- 現場、財政、制度を考慮した現実的ステップの考慮
- 役所がやらない理由は何かを確認する
- やる気のある職員と政策を作る
- やる気のない職員は交替させる
- 議員提案で条例を制定する 等

【おわりに】

- 活動より思いをSNSに投稿する
- 市政報告を定期的に配布する
- 市政調査としての活動を行う（返信封筒やはがきの活用）
- 地方の衰退を救うのは政治家の仕事

【所感】

今回の研修を通じ、議員として最も求められる力は「提案力」であると強く感じた。単に行政の課題を指摘するだけでは、市民の期待には応えられない。何をどう改善し、どのように実現へと導くのか。その具体的な段取りを示す議員こそが、行政と市民の双方から信頼を得ることができる。「誰が言うかで実現力は変わる」という言葉の重みを、改めて実感した。

また、議員の存在意義は実績の大小にとどまらず、「あなたの活動でまちはどう変わったか」を市民に語れるかどうにかかっている。一貫した政策軸を持ち、深く掘り下げたテーマで市政に向き合うことで、議会での立場も、市民からの期待も確実に変わる。提案は単なる手段ではなく、関係者を巻き込み、施策を動かし、地域の未来を形づくるための力であることを学んだ。

今後は、現場の声を丁寧に拾い上げつつ、データや制度を踏まえた「根拠ある提案」を積み重ねていきたい。思いを発信し、市政報告を継続し、地域の課題を共有しながら、市民とともにまちづくりを進める議員へと成長していきたい。地方の衰退を止める力は、政治家自身の行動にかかっている。その覚悟を胸に、研鑽を続けていく所存である。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活動記録簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項目	研修費			
年月日	令和7年5月21日（水）			
場所	リファレンス駅東ビル（福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-14） 会場には不参加。後日郵送された映像USBと資料にて受講。			
相手方	地方議員研究会 CK セミナー事務局 講師：杉本 康介 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・結果等	<p>本研修を受講する目的は、地方議会を取り巻く制度やルールを体系的に理解し、議員としての行動に確かな根拠と戦略性を持たせることである。地方自治法や会議規則、先例や申し合わせ事項といった議会特有のルールを知らなければ、議論に参加しても「何をしているのかわからない議員」になりかねず、住民の負託に応えることはできない。制度理解は、議員としての論理的な主張を支える最も重要な基盤であり、条例提案や予算修正など、政策を動かすための手段を身につけることにつながる。</p> <p>さらに、本研修を通じて、議会を構成する一人の議員として、自身の属する議会のローカルルールを整理し、必要に応じてその改善に取り組む視点を獲得したい。制度を熟知したうえで、何を換えられるのか、どのように改革につなげられるのかを考えることは、議会の質を高め、住民福祉の増進に資する政策実現へとつながる。一期目の議員としての学びを行動に移し、議会改革の一翼を担うことを目的として本研修に臨むものである。</p>			
経費	費目	内容	金額	備考
	研修費	議会制度の知識 参加費	5,000 円	
			円	
			円	
備考				

研修の概要

【地方議会の本質とはなにか？】

- 地方自治法と条例、会議規則を読む
- ルールがわからない状態では、試合にならない
- 議会独自のルールが〇〇市議会会議規則
- 昔の議会が決めたのが申し合わせ事項や先例衆
- 100の議会があれば100の議会ルールがある
- 議員は、議会という議事期間の一人の構成員である

【地方自治法改正の概要】

- 地方分権一括法の事例
 - 古い知識のままの議員もたくさんいる、改正は続いている
 - 住民の福祉は向上ではなく増進である
 - 議会は、議決機関ではなく議事機関である
 - 改正されてきた趣旨を考える

【地方議会の運営の実態】

- 全国の都道府県、市区町村の人口に関するデータ
- 地方議会議員数の推移に関するデータ
- 地方議会議員の概況（職業別）
 - 職業別では、議員専業が最多、農業・林業が次いでいる
- 地方議会議員の概況（性別、年齢別）
 - 男性が8割強、女性が2割弱
 - 町村議会になるほど年齢は高くなる傾向
- 女性議員の割合の推移
 - 徐々に増加している傾向

【自分の議会のルールを把握しているか】

- ローカルルールに注意
- 会派ルール、質問準、委員会構成は自治体によって違う
- 政務活動費の範囲を勝手に狭めているのも自己判断
- 議会事務局の職員は、ルールを運用する公務員
- ルールを変えていくのが政治家の仕事

【制度を熟知すれば武器は増える】

- 条例提案
- 予算修正

- 情報公開請求
- 直接請求
- 動議、委員長に質問
- 議会にまとまりが出来るのが一番困る
- 与党会派か、野党会派か、まとまらない議会

【制度がわかれば、主張が論理的になる】

- 制度理解が「議論の深さ」と「切れ味」を生む
- 自治事務と法令受託事務
- 制度を踏まえた提案は、相手も無視できない

【議会改革＝議員コミュニケーション改革】

- 形式だけの改革では意味がない
- 議会基本条例をつくって何が変わったのか
- 議会のミッションは住民の福祉
- アクションにより、どの住民の何がどう変わったのか
- 議会ランキングに踊らされすぎた結果、ランキングが目的化
- 意見と人格を分離する

【制度の壁を超えるのが「改革」】

- 制度を知ったうえで「変えられるもの」を探す
- 先例を理由にとまっているものに風穴を
- 制度がわからないなら、理想も課題も見つからない
- 制度理解こそが「変化を起こす力」になる
- まずは自分から質問原稿を会派控室に持参してみる
- 他の議員の質疑に耳を傾ける
- 同じ研修を一緒に受けてみる、課題の共有化
- 進んでいる自治体は、議会全員で参加する
- 議会研修には意味のある講師を呼ぶ

【所感】

今回の研修を通じて、地方議会で力を発揮するためには、制度を深く理解し、ルールを適切に運用する能力が不可欠であることを強く実感した。議会には国会とは異なる独自の構造があり、自治体ごとに異なる会議規則や先例が存在する。こうしたルールを知らないまま議論に臨めば、どれほど熱意があっても効果的な提案には結びつかない。「制度がわからなければ、理想も課題も見つからない」という指摘は、まさに核心であると感じた。

また、制度理解は単なる知識ではなく、改革の出発点でもある。変えるべきもの

と守るべきものを見極め、先例に縛られて停滞している部分に風穴を開けることこそ、議員に求められる役割である。そして、議会改革は形式だけのものではなく、住民の福祉にどれだけ寄与できるかという「実質」が問われる。意見と人格を切り離し、互いの議論に耳を傾け、協働の中で議会全体の質を高めていく姿勢が重要であると感じた。

今後は、他の議員の質疑や議事運営により一層関心を持ち、研修内容を会派内外で共有しながら、議会全体を前に進める取り組みに貢献したい。制度という土台をしっかりと身につけ、改革を恐れず、理想を現実に近づける力を持つ議員へと成長していきたいと感じたことをもって、本講座の所感としたい。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号	1-3、1-4
領収書等貼付欄					

領収証

2025 年 10 月 24 日

長谷川ひろゆき 様

★ ￥30,000

但 木村講師【当日不参加】生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動の基礎
 木村講師【当日不参加】生成AI(チャットGPT)を活用した議会質問の作り方
 資料・動画データ代として
 上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042
 神奈川県横浜市神奈川区浦島町3-2-26
 TEL 050-1089-9835



領収証

2025 年 10 月 28 日

長谷川ひろゆき 様

★ ￥15,000

但 宮本講師【当日不参加】生成AIチャットGPTの基礎
 資料・動画データ代として
 上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042
 神奈川県横浜市神奈川区浦島町3-2-26
 TEL 050-1089-9835



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号	1-3
領収書等貼付欄					

令和7年10月9日(木)

青森県八戸市議会
長谷川ひろゆき 様地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1089-9835
(平日9~12時、13~17時)
FAX 050-6875-7448

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。
領収証はセミナー終了後、メールにて送付いたします。
データの無断転載等をご遠慮願います。
またのご利用をお待ちしております。

記

お申込み講座	金額	備考
① 2025年10月24日(金)10時~木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動	¥15,000	不参加
② 2025年10月24日(金)13時半~木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議会活動	¥15,000	不参加
領収証宛名:	長谷川ひろゆき 様	
領収証金額:	¥30,000	
お振込み金額:	¥30,000	
お振込み日:	令和7年10月9日(木)	
お振込み名義:	長谷川ひろゆき 様	

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。

※2025年5月1日より「株式会社H3O」へ法人名が変更になりました。

※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号	1-4
領収書等貼付欄					

令和7年10月9日(木)

青森県八戸市議会
長谷川ひろゆき 様地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1089-9835
(平日9～12時、13～17時)
FAX 050-6875-7448

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証はセミナー終了後、メールにて送付いたします。

データの無断転載等をご遠慮願います。

またのご利用をお待ちしております。

記

お申込み講座	金額	備考
① 2025年10月28日(火)13時半～宮本講師【東京】生成AIチャットGPTの基礎	¥15,000	不参加
領収証宛名:	長谷川ひろゆき 様	
領収証金額:	¥15,000	
お振込み金額:	¥15,000	
お振込み日:	令和7年10月9日(木)	
お振込み名義:	長谷川ひろゆき 様	

※2025年7月5日より電話番号、FAX、メールアドレスが変わりました。

※2025年5月1日より「株式会社H30」へ法人名が変更になりました。

※新所在地 〒221-0042 神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28

第6号様式（第7条、第8条関係）

活動記録簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項目	研修費			
年月日	令和7年10月24日（金）			
場所	リファレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿7丁目21-3） 会場には不参加。後日郵送された映像USBと資料にて受講。			
相手方	地方議員研究会CKセミナー事務局 講師：木村 亮太 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・結果等	<p>近年、生成AIは行政情報の整理、住民意見の把握、政策比較など、議員活動の多くの場面で活用が進みつつある。一方で私自身は、基本的なICT操作は行っているものの、生成AIについては基礎的な理解に留まり、十分に活用できていないのが現状である。</p> <p>今回の講座「生成AIを活用した議員活動の基礎」を受講し、AIの特徴やリスク、活用の入口となる操作方法を学ぶことで、今後の調査研究や議会対応、住民相談への応用を見据えた基礎力の向上を図ることを目的とする。</p>			
経費	費目	内容	金額	備考
	研修費	生成AIを活用した議員活動の基礎 参加費	15,000円	
			円	
			円	
備考				

研修の概要

【生成AIとは何か】

- ユーザー側での調整や学習なしで自然な言語で指示を出すだけで、自然な回答を得られる。
 - 文章の要約、作成
 - 調査
 - 動画・画像・音声の生成
 - アイデア出し
 - 壁打ち
- 生成AIを使いこなすためのポイント
 - 質問は具体的に
 - 回答の形式も指示する
 - 質問は一度に1つずつ、追加して聞く
 - 回答を「たたき台」として活用
 - 困ったら「どう聞けばいい？」と質問
 - 回答の正確性は自分で確認

【政策実現のための基本的な使い方】

- リサーチ、分析、壁打ち、質問案
 - 調査、要約、文章作成が可能
 - 基礎資料の要約
 - 先進事例の調査
 - 論点の抽出
 - 仮の質問を作る
 - 深掘りする・壁打ちする

【ブログ・広報での活用方法】

- 議会発言の内容を要約し、ブログ等で発信
- ブログのアイデア出し
- 画像生成

【生成AI時代の議員がすべき役割と動き方】

- 生成AIは公開されている情報をもとに回答を出力
- 意思決定は人間
- 職員との対話や市民との対話を通じて情報を引き出す
- その内容をもとに判断、意思決定、コミュニケーションする

【所感】

今回の研修では、生成AIの基本的な仕組みと特徴を学ぶとともに、議員活動における活用の入り口について理解を深めることができた。また、生成AIは、専門的な設定や学習を行わずとも自然な指示で回答が得られる点に強みがあり、文章要約や調査、アイデア創出、画像・音声生成など、幅広い場面で活用できることを知った。特に、リサーチ・分析・論点整理・質問の「たたき台づくり」など、これまで時間を要していた作業の効率化に寄与する可能性も感じた。

一方で、生成AIはあくまで公開情報をもとに回答を形成するツールであり、回答の正確性を人が確認する姿勢が不可欠であることも再認識した。質問は明確かつ一つずつ行うこと、形式も指示することで精度が高まること、そしてAIの回答はあくまで骨子・案として捉え、人間の判断・修正を加える必要があるという点は、今後の活用に際して特に留意すべき点であると感じた。

また、ブログや広報への展開、議会報告の要約など、情報発信の面においても有効活用できる余地があると理解できた。議会発言を整理し、市民へわかりやすく届ける手法として、生成AIは有効な補助となり得る。議員としては、AIを操作することそのものよりも、職員・市民との対話の中で得た情報をどう判断し、政策に落とし込むかという役割が一層求められるのだと感じた。

私はまだ生成AIの十分な活用には至っていないが、今回の研修を機に基礎的な使用方法と活用の着眼点を得たことで、今後の議会活動の効率化、政策検討、情報発信に少しずつ取り入れていきたいと考える。AIと人間の判断を適切に組み合わせ、より良い意思決定と市民への還元につなげられるよう努めていきたいと感じたことをもって、本研修の所感としたい。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項 目	研修費			
年 月 日	令和7年10月24日（金）			
場 所	リファレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿7丁目21-3） 会場には不参加。後日郵送された映像USBと資料にて受講。			
相 手 方	地方議員研究会 CK セミナー事務局 講師：木村 亮太 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・結果等	<p>近年、生成AIの技術は急速に発展し、行政分野においても政策立案・調査活動・議会質問の作成補助など、多様な活用が進んでいる。私は日頃よりスマートフォンを用いた基本操作は行っているものの、生成AIの活用については十分に習熟しておらず、情報収集や質問作成に多くの時間を要している現状がある。</p> <p>今回の講座「生成AIを活用した議員質問の作り方」を受講することで、AI活用の基礎から実務での具体的な使用方法を学び、議会質問の構成力向上、政策提案の質の向上、業務効率化につなげることを目的とする。また、AIを議会活動に取り入れることで、市民からの要望・課題に対し、より迅速かつ的確に対応できる体制を整えたいと考えている。</p>			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	研修費	生成AIを活用した議員質問の作り方 参加費	15,000円	
			円	
			円	
備 考				

研修の概要

【講義の内容】

生成AIを活用することで、質問のたたき台を作成することが可能となる。

【質問作成のフロー】

- 1 基礎資料の要約
- 2 先進事例の調査
- 3 論点の抽出
- 4 仮の質問を作る
- 5 深掘りする／壁打ちする

【必須の事項と政策実現をさせるためには】

- 何のために質問をするのかを明確にする
- 5W2Hを意識して臨むこと
- 具体事例を参考に、かみ合うために必要な要素を確認する
- 質問を実現させるために
 - 関連計画の内容を把握する
 - 関連の勉強会に参加する、情報提供をする
 - 当事者の声を拾う
 - 現場に行く
 - 所管事務調査で取り上げる
 - 委員会視察をする 等

【財務分析／事業分析：AIを活用し、より効果的な分析を実施する】

- 財政状況資料集（及び決算カード）の活用
 - 財政力指数
 - 経常収支比率
 - 実質公債費比率
 - 将来負担比率
- ファイルを読み込ませ、分析させる
 - プロンプト次第でより詳細に分析することも可能
- ChatGPTとNotebookLMの比較
 - 情報源に大きな違い：前者はインターネット上の広範な知識をもとに対応、後者は「ソース（資料）」としてアップロードされた資料を活用することに特化。
 - 前者はハルシネーション（嘘の情報）が発生する可能性あり。後者は情報の出所が明確なため、信頼性が高い。

○NotebookLMの使い方について

【最後に】

- まちの魅力は議会、行政、市民、企業、それぞれの掛け合わせ
- あくまでも一つのやり方である

【所感】

今回の研修では、生成 AI を議会活動に取り入れることで、質問作成の効率化や政策提案の質向上につながる可能性を強く感じた。特に、基礎資料の要約や先進事例の調査、論点整理など、これまで多くの時間を要していた工程について、AI が「たたき台」を作成してくれる点は大きな助力となり得ると実感した。

また、質問を組み立てるにあたっては、5W2Hで目的を明確化すること、具体事例を踏まえ質問の「かみ合わせ」を図ること、そして政策実現に向けて現場確認や当事者の声の収集、委員会視察・所管事務調査など、地に足のついた活動が欠かせないことも改めて確認できた。加えて、生成 AI は便利な道具ではあるが、あくまで「活用のための支援」であり、議員自身の意思と判断こそが重要であるとの認識も深めることができた。

さらに、財政分析や事業評価における AI の活用余地は大きく、決算カード等のデータを読み込ませることで、従来より効率的で多角的な分析が期待できることを学んだ。特に、ChatGPTとNotebookLMの特徴の違い（前者は幅広い情報、後者は資料ベースで信頼性高い回答）を理解できたことは今後の選択・使い分けに役立つと考える。

私は生成 AI の技術にはまだ不慣れである。しかし、本研修を通じて基礎的な活用方法と可能性を把握できたことで、今後は質問作成や調査活動の初期段階で積極的に AI を試し、業務の効率化と政策提案の強化につなげていきたい。そして、議会・行政・市民・企業が連携し、まちの魅力を高めていく一助となるよう努めていきたい。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項 目	研修費			
年 月 日	令和7年10月28日（火）			
場 所	リファレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿7丁目21-3） 会場には不参加。後日郵送された映像USBと資料にて受講。			
相 手 方	地方議員研究会 CK セミナー事務局 講師：宮本 正一 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・結果等	<p>近年、生成 AI は議会活動においても、行政情報の整理、住民ニーズの把握、政策立案に向けた比較検討など、幅広い場面で活用が進んでいる。私自身、基本的な ICT 操作は行っているものの、生成 AI、とりわけ ChatGPT については基礎的な理解にとどまり、十分に活用できていないことが課題である。</p> <p>今回の講座「生成 AI (ChatGPT) の基礎」を受講することで、AI の基本的な仕組みや特徴、留意すべきリスク、そして実際の操作方法を体系的に学びたい。これにより、議員としての調査研究、一般質問の構築、住民相談への対応、さらには日常的な情報整理において、生成 AI を適切かつ効果的に活用するための基礎力の向上を図ることを目的とする。</p>			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	研修費	生成 AI (ChatGPT) の基礎 参加費	15,000 円	
			円	
			円	
備 考				

研修の概要

【ChatGPTとは?】

- アメリカOpenAI社の生成AI
 - 膨大な言語データから文章を生成
 - 簡単な質問から文章、表作成まで可能

【AIにできて議員にできないこと】

- 情報整理要約
 - 議会事務局議事課
- 法律文・政策文書の比較
 - 総務課
- データベース検索の補助
 - 図書館司書

【議員にしかできないこと】

- 現場間のある判断
 - 直観の解説
- 市民との信頼関係の構築
 - AIの短所
- 議場での発信力
 - 議員個別のブランド力

【効果的な支持の方法や指示のコツ (プロンプト)】

- 具体的な条件や背景を伝える
- 形式や字数も指定できる
 - 5 W2Hが基本
- 一般質問のたたき台作成
- 地域課題のデータ整理
- SNS発信文・議会広報の下書き作成

【やってはいけない使い方】

- 個人情報の入力
- AIに「判断」を任せ過ぎない
 - 自己判断が基本、番頭ではなく参謀
- 出力された情報の信頼性確認
 - 出元チェック

【所感】

今回の「生成AI (ChatGPT) の基礎」講座を受講し、AIが持つ可能性と同時に、その限界や適切な向き合い方について理解を深める貴重な機会となった。生成AIは、膨大な情報の要約整理、法令や政策文書の比較、資料調査の補助など、議会活動の効率化に大きく寄与するツールである一方、最終的な判断や市民との信頼関係の構築といった、議員にしか担えない役割が明確に存在することを改めて認識した。

研修では、AIへ指示を出す際のポイントとして、背景や条件を明確に提示する「プロンプト」の重要性や、形式・字数の指定によって精度の高いアウトプットを得られることを学んだ。これにより、一般質問のたたき台作成、地域課題の整理、SNS・広報文案の下書きなど、日常的な業務で早速、応用できる具体的なイメージが得られた。また、個人情報入力の禁止や出力内容の信頼性確認など、AI利用に伴うリスクについても適切に理解できたことは大きな収穫であった。

特に印象的だったのは、「AIは議員の判断を代替するものではなく、時間を生み出すための補助輪である」という視点であった。生成AIを賢く活用することで、これまで多くの時間を要していた調査・文書作成を効率化し、市民との対話や現場での活動により多くの時間を充てられる可能性を強く感じた。

今回の学びを基礎として、今後は議員としての判断力や政策形成力をより高めるために、AIを「参謀」として適切に使いこなし、議会活動の質とスピードの向上につなげていきたいと感じたことをもって、本講座の所感としたい。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号
領収書等貼付欄				1-5

領 収 証

2025 年 11 月 18 日

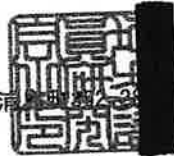
長谷川ひろゆき 様

★ **¥30,000**

但 実績を出す議員になる！議会活動の“型”と“戦略”を知る実践講座
議会質問は“技術”で決まる成果を生む質問力 理解と設計の極意

資料・動画データ代として
上記正に領収いたしました

地方議員研究会
〒221-0042
神奈川県横浜市神奈川区清見町2-3
TEL 050-1089-9835



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号	1-5
領収書等貼付欄					

令和7年10月9日(木)

青森県八戸市議会
長谷川ひろゆき様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-1089-9835
(平日9~12時、13~17時)
FAX 050-6875-7448

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。
領収証はセミナー終了後、メールにて送付いたします。
データの無断転載等にご遠慮願います。
またのご利用をお待ちしております。

記

お申込み講座	金額	備考
① 2025年11月18日(火)13時半~高橋講師【京都】実績を出す議員になる!議会活動の“型	¥15,000	不参加
② 2025年11月19日(水)10時~高橋講師【京都】議会質問は“技術”で決まる成果を生む質	¥15,000	不参加
領収証宛名:	長谷川ひろゆき様	
領収証金額:	¥30,000	
お振込み金額:	¥30,000	
お振込み日:	令和7年10月9日(木)	
お振込み名義:	長谷川ひろゆき様	

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

第6号様式 (第7条、第8条関係)

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項 目	研修費			
年 月 日	令和7年11月18日 (火)			
場 所	京都 JA ビル (京都市南区東九条西山王町1) 会場には不参加。後日郵送された映像 USB と資料にて受講。			
相 手 方	地方議員研究会 CK セミナー事務局 講師：高橋 伸介 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・結果等	<p>本講座を受講する目的は、議員としての基礎的な姿勢と心構えを再確認し、議会の一員として長く信頼される存在となるための土台を築くことである。地方議会は自治体ごとに異なるルールと文化を持ち、また、そこには百人いれば百通りの正義が存在する。議会は合議により議決する機関であり、同時に行政経験豊富な理事者と向き合う場でもある。その中で存在感を発揮するには、制度の理解とともに、謙虚さ、誠実さ、対話力が不可欠である。</p> <p>新人議員として、まずは「聞く姿勢」を徹底し、議会事務局、先輩議員、行政職員から知見を学び、また、現場に足を運び、地域課題を自らの目で確認することで、説得力のある判断力を身につけたい。日々多忙な議員活動の中でも、自らの感情をコントロールし、合意形成を重視しながら提案を行う能力を高めることを目的として、本講座を申し込んだ。</p>			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	研修費	失敗しない議員活動1実績を出す議員であるには まず議会の仕組みと基本戦略を知ろう 参加費	15,000 円	
			円	
備 考				

研修の概要

【地方議会の結論から】

- 100の議会があれば100の議会ルールがある
- 100人の議員がいれば100の正義がある
- 議会は議員により合議し議決する機関である
 - 同時に、理事者席に座っている25年以上の行政のベテランが相手
 - 議会、行政の中で共感を得るための努力、何事も謙虚な姿勢と誠実さが全て

【議員としての「資質向上」は日々の勉強と対話と説得】

- 一 議会では、最上のものを目指さない
- 一 議会では、議員全員のレベルの半歩前を提案する
- 一 議会では、徹底して合意形成に努力する
- 一 議会では、「私」(我)を捨てる
- 一 議会では、できれば議員全員と付き合う

※キーワードは「合意形成」「環境情勢」、そのためにも対話

【2割ほど事が進めば上々と考える】

- 心構えの基本は「謙虚」であること
- 自分の感情をコントロール下に置く事
- 最大の敵は「悲観的」になること
- 常に相手の感情を考え社交能力を磨くこと

【少々厄介な議会(コミュニティ)を知る】

- バッチを付けられたら、公明正大、街の事について知らないことはない
- 同時に世間の常識、良識にしたがい市民の模範となる
- 地方議員は「非常勤の特別職地方公務員」で「公人」である
- 品位を意識する

【頭に入れておくこと】

- 自治体数の推移
- 憲法、自治法からみる議会と議員
- 地方自治法について
 - 自分たちが行う仕事の把握
- 議会基本条例を始めとする議会改革の流れの背景について
 - 各自治体の事例、当市の事例

【議員活動の内容を理解する】

- 議員活動
- 議会活動
- 政治活動
- 選挙活動

【実際の活動全般は超多忙といえる】

- 議会質問（準備を含む）
- 委員会活動
- 提出案件調査活動
- 行政情報収集と理解
- 諸問題の会派間調整
- 議会や行政の対外行事
- 政党活動
- 他への選挙応援活動
- 地域利害の調整
- 後援会等のフォロー
- 自らの選挙事前活動および情報収集としての地域活動
- 日々の口利き顔つなぎ活動
- 冠婚葬祭 等々・・・

【そのような中で議会で存在感を高めるには】

- 1期目ならば、誰にでも何でも聞ける
- 最初は事務局に聞く
- 局長にレクチャーをお願いしてもよい
→ただし、市長の耳に入る
- 3期以上の古参議員から話を聞く（傾聴）
- 行政の管理職に教を乞う
→千里の道も一歩から
→遅れても行かぬよりはまし
→気を植える最良の次期は20年前、地祇に良いのは今
→始めるのに遅すぎることはない
→過去は変えられないが、未来は今から変えられる

【議会会派について】

- 会派は議会活動を共に行うグループであるが、法的な制度ではない
- しかし、会派は力をもっている
- 出来るならば会派に属することをすすめる

【新人議員が議会・行政から一目置かれるには】

- 報告や案件、相談があったら極力現場に赴くようにする
- 現場でも5W2Hを意識する
- 地方議会制度調査会からこれからの議会を読み解く

【所感】

本講座の研修を通じて強く感じたのは、議員活動にとって最も重要なのは「資質の向上」であり、それを支えるのは日々の勉強と対話、そして謙虚さであるということであった。議会では最上の案を強引に押し通すことよりも、議員全員が半歩前に進める提案を行う方が、結果として住民の利益につながると知った。合意形成の難易度を理解し、丁寧に調整し続ける姿勢こそが、信頼される議員としての第一歩であると実感した。

また、制度や議会運営の理解が進むほど、自分の行動に確かな根拠が生まれ、行政との対話や提案に厚みが出ることを学んだ。議員は非常勤であっても「特別職公務員」であり、公人としての品位が求められる存在である。感情的にならず、悲観に陥らず、常に相手の立場を想像しながら行動することが欠かせない。

さらに、現場を大切にすることが、行政や市民からの信頼を大きく左右することも改めて理解した。報告や相談にはまず現場へ足を運び、5W2Hを意識して状況をつかむといった積み重ねが、将来的には議会内外から一目置かれる議員へと成長する礎となる。

過去は変えられないが、未来は今から変えていくことができる。今回の学びを胸に、慢心することなく努力を続け、議会と地域の双方に貢献できる議員像を実現していきたい。以上が本講座を受講しての所感である。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自民クラブ 長谷川ひろゆき

項 目	研修費			
年 月 日	令和7年11月19日（水）			
場 所	京都 JA ビル（京都市南区東九条西山王町1） 会場には不参加。後日郵送された映像 USB と資料にて受講。			
相 手 方	地方議員研究会 CK セミナー事務局 講師：高橋 伸介 氏			
参加者氏名	長谷川ひろゆき			
目的・内容・結果等	<p>本研修を受講する目的は、議会質問における戦略・戦術を理解し、住民にとって価値ある成果を生み出す「質問力」を備えるためである。議会には議会ごとのルールが存在し、議員にもそれぞれの正義があるが、最終的には合議と議決によって市政は動いていく。そのためには、議会内で共感を得る力、行政と誠実に向き合う姿勢、そして相手を尊重した対話が不可欠であると痛感している。</p> <p>特に、一般社会の質問とは異なる「議会質問の作法」を正しく理解し、バイアスに囚われず、議題に沿った論理的な質疑を行う能力を身につけることが重要である。また、住民要望型、市政調査型、政策提案型など質問の分類を把握し、課題の深掘りや効果予測を含めた質問づくりが求められる。さらに、生成 AI などの新たな技術を政策秘書のように活用しつつ、情報漏洩リスクや正確性にも配慮するなど、現代の議員としての総合力を高めることを目的として本研修に臨んだ。</p>			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	研修費	失敗しない議員活動・議会質問にも技術がある 成果を生む質問をするために 参加費	15,000 円	
			円	
備 考				

研修の概要

【地方議会の結論から】

- 100の議会があれば100の議会ルールがある
- 100人の議員がいれば100の正義がある
- 議会は議員により合議し議決する機関である
 - 同時に、理事者席に座っている25年以上の行政のベテランが相手
 - 議会、行政の中で共感を得るための努力、何事も謙虚な姿勢と誠実さが全て

【議員としての「資質向上」は日々の勉強と対話と説得】

- 一 議会では、最上のものを目指さない
- 一 議会では、議員全員のレベルの半歩前を提案する
- 一 議会では、徹底して合意形成に努力する
- 一 議会では、「私」(我)を捨てる
- 一 議会では、できれば議員全員と付き合う

※キーワードは「合意形成」「環境情勢」、そのためにも対話

【一般社会の質問と議会の質問は異なる】

- 市政全般に対して市の見解を求め、疑問をただすもの
- 市の一般事務について質問する
- 要旨を文書で通告する

【重要なポイント】

- 知っていることを聞き、知らないことは聞かない
 - この点が一般社会の会議における質問と異なる
- 質疑とは「議案に対する疑問点をただすこと」
- 質疑のポイント
 - 議題外の発言はできない
 - 演説・要望はタブーだが、要望は極力書面で行う
- 質問、質疑ともに「バイアス(思い込みや偏り)」に注意

【質問の分類】

- 住民・地元要望型
 - アピール度最大
- 市政・財政調査型
 - 財政の場合、最低限「決算カード」を読み取ることが好ましい

- 参考として「決算審査意見書」と「事務概要」に目を通す
- 各種政策提案型
 - 市民の暮らしに直接かかわる一般施策に関する議員提案
- 問題点追求型
 - 議会・議員によりさまざま

【質問のネタづくり】

- フォルダを作る
- その中に、各事業部名のフォルダをつくる
- 1案件1ページのWord文章を入れる
- トップには日付、案件名、担当者名を入れ、住民相談者の場合は住所連絡先を必ず入れる
- 下調べを行う（生成AIの活用も）
- 担当部署とのヒアリングを行う

【地方議員の活動や資質に対する有権者の評価・意識】

- 何をしているのかわからないという印象が多い
 - 一般的に、行政よりも信頼度は低く、2～3割の評価
- 評価されるためには、現場に足を運ぶ（顔が見える）
 - SNS等の情報発信をする（透明性・身近）
 - 政策提案型の活動をする（有能な議員とみなされる）
 - 清廉さと誠実さ（誠実な態度が資質面で最重視される）
- 議員への不満も多い
 - 活動の不透明さ
 - 政党や派閥優先の活動
 - 議会内の形式義
 - 報酬や定数への批判
- 世代や地域による違い
 - 高齢層：地元密着の活動を重視
 - 若年層：政策提案力、情報発信力を重視
 - 都市部vs農村部
- 多くの住民が「必要とは認めつつも、機能している実感が薄い」と感じている

【執行部から見た議員および議会質問】

- 議員の仕事力については、よりシビアに見ている
 - 勉強不足なのに上から目線
 - 選挙前だけ頑張る
 - 突然、突拍子もないことを聞かれ、提案されても沈黙するだけ
 - 何をどうしたいのかわからないので表面上しか答えられない

→そもそも現場が忙しく議員のことをよく知らない

【市長は議員をどう見ているか】

○タイプ別議員に求める姿

- 優秀な市長：「知識のある人」「発信力のある人」「行政の不足を指摘してくれる人」を議員に望む
- 善良な市長：「議会をまとめてくれる人」「行政事務に理解ある人」「普通の議員である人」を議員に望む
- 政治的市長：「選挙を応援してくれる人」「多少のことは目をつぶってくれる人」「人気を全うさせてくれる人」「市長職の苦勞をわかってくれる人」を議員に望む

【質問力について】

- 最も大切なのは「謙虚な姿勢と誠実さ」
- 品位をもった行動
- 傾聴を心がける
- 議会の基本は5W2H
- 加えて「対象となる住民数」「投入費用（税金）」「効果測定の方法」「効果予測の根拠」「他会派の状況」などが重要

【AIという政策秘書を活用する】

- 壁打ちを活用する
 - 基礎資料の要約
 - 先進事例の調査
 - 論点の抽出
 - 仮の質問をぶつける
 - 不足を補強する
 - 市民向けにわかりやすく整える
- メリットと同時にリスクも意識する
 - 正確性の担保
 - 情報漏洩リスク
 - 人の判断の必要性

【アナログの質問力を高める方法】

- PDCAサイクル
 - 行政はCとAにあまり力を入れない
- 議員活動はOODA
 - Observe 観察 - Orient 状況判断 - Decide 意思決定 - Act 実行

【所感】

今回の研修を通じて、「議会質問は技術であり、戦略である」という言葉の重みを強く感じた。質問は単なる行政への問いかけではなく、市民に代わって課題を見つけ、判断を促し、政策を前に進めるための大切な手段である。だからこそ、質問には謙虚さと誠実さが不可欠であり、傾聴と準備こそが成果を生む土台であると理解した。

また、行政側が議員をどのように見ているか、市長が議員に何を求めているかといった視点を知ることで、議員としての足りない部分を客観的に認識することができた。勉強不足のまま高圧的な姿勢で臨むことが、いかに信頼を損ねるかを知ったことで、日々の学びと現場主義を欠かさず、物事を積み重ねることの必要性を痛感した。

質問をつくる過程では、丁寧な下調べ、担当部署とのヒアリング、資料整理など、地道な作業が大きな差を生むことも理解できた。評価される議員とは、「現場に足を運び、情報を発信し、政策を提案し、誠実な態度で向き合う議員」であるという住民の意識にも深く共感した。

今後は、OODAループを意識しながら日々の議員活動に取り組み、観察・判断・決断・実行を早く正確に繰り返すことで、議会内外から信頼される議員へと成長したい。質問とは、まさに議員の力量が表れる場である。この研修で得た学びを実践し、市政の前進につながる「成果の出る質問」を積み重ねていく決意をしたことで、本講座の所感としたい。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	参加費	整理番号	3-1
領 収 書 等 貼 付 欄					

領収証

No. _____

日 當 正 男 様

令和7年4月14日

金 額

¥25,000

内

消費税等

現金

但 5月15日 セミナー(午前午後)受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6


株式会社 廣瀬行政研究所

登録番号 T2011001095530

係

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号	4-1
領収書等貼付欄					
<p>領収証</p> <p>2025 年 5 月 22 日</p> <p>藤川優里 様</p> <p>★ ¥60,000</p> <p>但 生成AIチャットGPTを活用した質問づくり最新セミナー</p> <p>資料・動画データ代として</p> <p>上記正に領収いたしました</p> <p>地方議員研究会 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-27 大阪駅前第2ビル2階5-8号室 TEL 050-6868-9678</p> 					

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	参加費	整理番号	4-1
領収書等貼付欄					

令和7年5月22日(木)

青森県八戸市議会
藤川優里 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 050-6868-9678
(平日9~12時、13~17時)
FAX 050-6868-9679

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。
受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。
資料、USB動画データ、領収証は、開催後7-10営業日中に郵送いたします。
データの無断転載等をご遠慮願います。
またのご利用をお待ちしております。

記

お申込み講座	金額	備考
① 2025年4月23日(水)14時~宮本講師【松山】議会質問の基礎	¥15,000	不参加
② 2025年4月24日(木)10時~宮本講師【松山】生成AIチャットGPTの基礎	¥15,000	不参加
③ 2025年4月24日(木)14時~宮本講師【松山】財政問題の取り上げ方	¥15,000	不参加
④ 2025年4月25日(金)10時~宮本講師【松山】人口問題の取り上げ方	¥15,000	不参加
領収書宛名:	藤川優里 様	
お振込み金額:	¥60,000	
お振込み日:	令和7年5月22日(木)	お届け先: 〒031-0075 青森県八戸市内丸1-1-1 議会事務局
お振込み名義:	藤川優里 様	

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

第6号様式（第7条、第8条関係）

活動記録簿

会派・議員名 自民クラブ 藤川優里

項目	研修費			
年月日	令和7年5月18日			
場所	地方議員研究会（〒神奈川県横浜市神奈川区浦島 362-28）が過去に開講したセミナーのアーカイブ動画と資料によって、自宅（〒039-1113 八戸市西白山台 3 [REDACTED]）及び八戸市庁（031-0075 八戸市内丸 1-1-1）にて受講。			
相手方	地方議員研究会 〒神奈川県横浜市神奈川区浦島 362-28 TEL 050-6875-9835			
参加者氏名	藤川 優里			
目的・内容・結果等	別紙の通り			
経費	費目	内容	金額	備考
	研修費	生成 AI チャット GPT を活用した質問づくり最新セミナー ①議会質問の基礎	15,000 円	
	〃	生成 AI チャット GPT を活用した質問づくり最新セミナー ②生成 AI の基礎	15,000 円	
	〃	生成 AI チャット GPT を活用した質問づくり最新セミナー ③財政問題の取り上げ方	15,000 円	
	〃	生成 AI チャット GPT を活用した質問づくり最新セミナー ④人口問題の取り上げ方	15,000 円	
備考				

生成 AI チャット GPT を活用した質問づくり最新セミナー

① 議会質問の基礎～質問力の向上と実践への応用～

講師：宮本 正一

テーマ：

生成 AI の政治における可能性と責任を探る講義で、AI が活版印刷や産業革命に匹敵する歴史的技術革新であることを解説。政治家には、AI を避けられないツールとして扱い、これを活用することで議員活動を効率化し、市民との信頼関係を築くハイブリッドな存在になることが求められている。

主な要点：

1. AI の歴史的な重要性と政治家の責任：

- 生成 AI は歴史的な技術変革であり、政治家は率先して学ぶ責任がある。
- 現代の政治家は AI を使いこなしつつ、人間としての現場感覚を活かすことが重要。

2. AI と国際情勢：

- 中国製 AI の政治的偏りを警戒し、バランスの取れた OpenAI (ChatGPT) などを使用するのが望ましい。

3. AI の能力と限界：

- AI は豊富なデータからの分析や文章生成に強みがあるが、現場感ある判断や人間的文脈の理解は苦手。

4. 議員活動における AI 活用の具体例：

- 活動報告、SNS 投稿、スピーチ原稿の作成などにより効率化し、人間でしかできない市民相談に時間を充てるべき。

5. プロンプト設計の重要性：

- AI に指示を出す際の「背景 (Background)」「何を (What)」「どのように (How)」を具体的に含めることが重要

6. AI 利用の倫理と心構え：

- 個人情報の入力を避け、AI の生成物は独自視点で必ず加筆修正を行う。
- 出力内容は元の情報源でダブルチェックが必要。

7. AI 時代のブランディング：

- 自身の専門分野を活かした「小店舗」としての議員ブランドの構築が大切で、AI を通じた自己紹介の支援も有効。

8. 組織的取り組みの重要性：

- 議会全体で AI 活用の研究会や特別委員会を公式に設置すること。

生成 AI チャット GPT を活用した質問づくり最新セミナー

① 生成 AI の基礎～議員活動に役立つ実践スキル～

講師：宮本 正一

テーマ

生成 AI、特に ChatGPT の活用は、今後の地方議員にとって必須のスキルとなっている。AI は政策立案や情報発信を劇的に効率化するツールである一方、議員自身の命令（プロンプト）の質がその成果を左右します。そのため、AI を効果的に活用する技術と共に、地方自治法に基づいた論理的な質問を作成する能力が求められる。

主な要点

1. 生成 AI の活用必要性：ChatGPT のような生成 AI を使えないことは、政治家としての競争力を失うことを意味します。AI を活用することで、新人議員でもベテランに劣らぬ働きが可能。
2. プロンプトの重要性：AI に出力を指示する際は「ゴミを入れたらゴミしか出てこない」原則を理解し、的確なプロンプトを与える能力が必要。
3. 効果的な質問作成：議員の役割は行政チェックであり、質問は聞きたいことではなく「言わせたいこと」を執行部に言わせるものです。「質問の木」として、背景（根）、中心テーマ（幹）、具体的な問い（枝）を持つ構造が重要。
4. 地方自治法の理解：地方自治法を理解し、議会（96条）と執行部（149条）の役割を明確に認識することは、議員としての義務であり、強力な権限を理解する鍵です。
5. 情報収集：予算書や事業計画書などの公的文書を基に公式な場で質問を行い、情報公開請求も戦略的に活用すべき。
6. 新しい議員の姿勢：SNS や AI を駆使する候補者と競うため、地に足のついた活動、論理的な質問、及び市民へのアプローチが重要です。質問にはエビデンスを基にしつつ、時に感情を込めることが求められる。

生成 AI チャット GPT を活用した質問づくり最新セミナー

② 財政問題の取り上げ方～データと現場感覚で考える財政チェック～

講師：宮本 正一

テーマ

本セミナーでは、地方自治体の財政状況を深く理解し、AI を活用した効率的な分析手法を学びました。主要指標を用いて自治体財政を鳥の目で捉え、夕張市財政破綻の教訓を交えた理解を深めることが目的。

主な要点

1. 財政分析の基本:

- 財政の重要指標（将来負担比率、実質単年度収支、経常収支比率など）を用い、自治体の健康状態を多角的に評価。
- 表面的な黒字からの誤解を避け、経済的実態を把握する。

2. 夕張市の教訓:

- 財政の隠蔽手法や安易な政策への依存が破綻を招いた。
- 透明性のある会計監視の重要性と市民・議員の責任を確認。

3. 生成 AI（ChatGPT）活用法:

- 財政データの解説や議会での準備サポートに AI を利用する。
- AI 回答をそのまま受け入れず、批判的視点と基礎知識の強化が必要。

4. 議員の心構え:

- 財政に関して無知を公言することは権限の放棄に等しい。
- 議会の議決権を最大限に活用し、監視役を果たす意識が不可欠。

5. 提案・提言:

- 重要指標に基づいた継続的な財政状況のモニタリングを推奨。
- AI はツールとして、正確で具体的なプロンプトのもと活用する。

生成 AI チャット GPT を活用した質問づくり最新セミナー

③ 人口問題の取り上げ方～人口減少社会を道議会で取り上げるか～

講師：宮本 正一

テーマ

この講義では、日本の人口減少という避けられない問題について取り上げ、「AI」やオンライン技術を活用した政策立案の重要性が強調されました。また、地方自治体が主体的に行動することで地域の住民満足度を最大化する必要性が指摘された。

人口減少の概要として統計的に、2100年まで人口減少が続くと予測され、高齢化の進行や15歳未満人口の著しい減少が進行中。ゆえに政治家はこれを短期的な利益にとどまらず、長期的視野で考慮すべきとされている。

主な要点

1. 教育と経済インセンティブ

- 教育無償化の実施と、出産時の経済的インセンティブ（例：出産一回ごとに150万円の税額控除）を導入し、家庭に「お得感」を与える。

2. 公共経営の目的

- 公共経営の目標は住民満足度の最大化である。これを達成するために、地域の実情に合わせた政策の実行が求められる。

3. 地方自治体の役割

- 地方の若年女性の減少や交通不便さを克服するため、オンライン教育やリモートワーク、多拠点居住を推進し、労働機会の拡充を図るべき。

4. AI・データ活用の重要性

- AIツール（例：ChatGPT）やデータ分析ツール（RESAS、JMAP）を用いて、エビデンスに基づいた政策を立案し、具体的な解決策を模索する。

5. 具体的な行動指針

- AIやデータ分析ツールのスキルを向上し、長期にわたる人口減少の影響を主な政策形成の前提として考慮する。

- 地域の経済や生活を支える新しい仕組み（例：ドローンによる物流、オンライン教育の整備）を自治体レベルで積極的に導入する。

まとめ

AIは参謀（サブ）であり、最終判断は人間が行うべき。AIを頻繁に使用し、議員活動とブランディングを強化する『参謀』としての使い方を学ぶ。専門家の講座を定期的を受講し、最新の財務知識とAI技術の進展を追跡することが不可欠。

また、AIを活用した政策立案や業務効率化の推進が求められており、創出された時間を市民相談などに使い、人間ならではの強みを活かす流れをつくるべきである。

生成AIの投資: ChatGPTの有料版を活用することで、精度と効率が向上し、政策活動の強化に繋がる。

領収証

2026 年 1 月 22 日

日當正男

様

★ ¥30,000

但 2026/1/22(木)10時～川本講師【東京】持続可能な財政の課題
2026/1/22(木)13時半～川本講師【東京】インフラ老朽化の課題

研修会受講代として

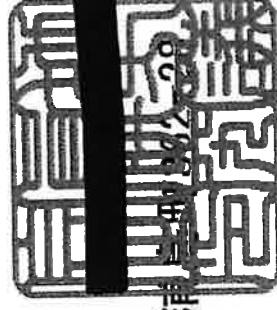
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区浦

TEL 050-1089-9835



領収証

2026 年 1 月 30 日

日 當 正 男 様

★ ¥30,000

但

2026/1/30(金)10時～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動の基礎

2026/1/30(金)13時半～木村講師【東京】生成AI(チャットGPT)を活用した議会質問の作り方

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042

神奈川県横浜市神奈川区清

TEL 050-1089-9835

